

競技の枠を超え熱戦 スポーツ少年団駅伝大会

「第35回小松島市スポーツ少年団駅伝大会」が1月21日、市立体育館周辺コースで開催され、市内の各種スポーツクラブから27チームが出場しました。

参加した子どもたちは、チームメイトや沿道に詰め掛けた保護者から声援を受けながら、懸命にたすきをつなぎ力走していました。

大会結果は次のとおりです。

【男子チーム】

優勝 小松島少年サッカースクール A

準優勝 海北少年野球部 A

第3位 小松島少年サッカースクール B

【女子チーム】

優勝 新開JVC A

準優勝 小松島JVC

第3位 小松島Jr.バドミントン A



たすきをつなぐ子どもたち



放水訓練の様子

貴重な文化財を火災から守るため 現福寺で防火訓練を実施

大林町の現福寺で1月22日、「文化財保護防火訓練」が行われ、市消防本部や市教育委員会の職員、地元消防分団員、地元住民など約40名が参加しました。

訓練では、現福寺の本堂付近から出火したとの想定で、バケツや消火器を使った初期消火、文化財の搬出、負傷者の救出、放水による消火活動などが本番さながらに実施されていました。

災害図上訓練の進行役を養成する講座 防災意識の高揚を図る

災害図上訓練の進行役を養成するための講座「DIG(ディグ)ファシリテーター養成講座」(主催:国土交通省四国地方整備局)が2月5日に市役所で開催され、市内の自主防災組織会員や地域住民、高校生、大学生など約60名が参加しました。

講師の常葉大学社会環境学部准教授の小村隆史さんと災害対策研究会代表の宮本英治さんによる指導のもと、参加者は、地震が起きた際に取るべき行動などをグループで活発に話し合っていました。



グループワークで意見を出し合う参加者



豊国大明神の礎石群の前に建てられた石碑

「豊国大明神 礎石」の碑を建立

中郷町の豊国神社の境内に残されている礎石群は、豊臣秀吉の死後に蜂須賀家に贈られた豊太閤像をまつるため、現在の千代小学校付近に建てられた「豊国大明神」の礎石を移したものです。

礎石には寄進した蜂須賀家重臣の名が刻まれています、その中には、ほぼ同じ時期に大阪の陣で徳川方として活躍した者も見え、蜂須賀家の微妙な立場が垣間見えます。

このたび、氏子の方々が説明の入った石碑を建てられました。石碑などは自由に見学できます。